

事務事業名	登別市民有林造林推進事業
-------	--------------

区分	No	名称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	2	自然を生かした潤いのあるまちづくり
施策	1	人と自然が共生する潤いと安らぎのある環境の創出
小分類	2	自然環境の保全と回復
主要な施策	6	森林の保全
事務事業番号	002	事業開始年度 平成 12 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	観光経済部	グループ名	農林水産G
-----	-------	-------	-------

事務事業の概要 《Plan・Do》

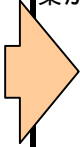
目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	民有林に係る植栽、下刈等の活動を支援することにより、民有林の造林事業の推進を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	植栽、下刈、除間伐等の造林事業について、国、道の補助金を控除した残額に対し補助を行うことにより森林を守り育てる。 【平成23年度事業実績】 植栽面積 4.33ha 下刈面積 111.52ha 除間伐 14.48ha
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	森林は、多目的機能を有し重要な役割を果たしており、補助を行うことにより、造林事業の推進が図られることから、今後も継続して事業を行う。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	登別市民有林造林推進事業補助規則

事業費（財源内訳）の推移 《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称 未来につなぐ森づくり推進事業費補助金	千円	2,258	581	2,016	2,500	2,500
地方債	名称	千円					
その他	名称 民有林造林推進事業充当債	千円	400	0	0	0	0
一般財源	名称	千円	4,342	2,952	3,735	3,500	3,500
事業費 合計			7,000	3,533	5,751	6,000	6,000

指標の推移 《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	植栽面積	ha	目標値	45	6	15	15	15
			実績値	45	4			
	下刈・除間伐面積	ha	目標値	162	165	121	121	121
			実績値	162	126			

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
<p>民有林所有者が実施する森林施業に係る自己負担が大きかった。</p>		
	<p>森林施業に係る自己負担が少なくなり、適切な森林施業が促進されている。</p>	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	→	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 森林の有する多面的な機能の発揮には適切に維持管理する必要があり、本事業へ市が支援することは適切である。
	→	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	→	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	→	国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	→	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 森林所有者、森林組合から要望がある。また、地球温暖化防止の観点から森林整備の推進は重要である。
	→	市民アンケートの結果から必要性が高い	
	→	社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	→	市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	→	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 補助金により、森林整備が着実に進められている。
	→	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	→	多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	→	将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	→	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 造林事業により、森林整備が進んでいる。
	→	市民、団体等の声から成果を感じられる	
	→	目に見える形で成果があがっている	
	→	成果の把握は困難である	

担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	地球温暖化防止のため、森林整備を進めることは重要なことであり、下刈や間伐により適切な維持管理を行う必要があることから本事業を維持することとする。
-----------	----------------------	--

行政評価会議による評価 《Check》

改善	備考	他市町との比較検証を行い、補助率の適正化など、制度内容を精査すること。
-----------	----	-------------------------------------